

2年連続！ 国土交通大臣賞を受賞 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、平成30年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰にて国土交通大臣賞1件、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞1件を受賞しました。国土交通大臣賞の受賞は昨年の熊本再春荘病院外来治療棟等新築整備工事に続き、2年連続です。

本表彰は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会が、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再利用、リサイクル:再生利用)に率先して取り組み継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人、グループ、学校、事業所、地方公共団体等を表彰することにより、これらの活動を奨励し、循環型社会の形成推進を図ることを目的としています。本年度は国土交通大臣賞は全部で5件、協議会会長賞は33件でした。今回受賞の対象となった事業所の取り組みは以下の通りです。

1. 国土交通大臣賞：函館国際ホテル耐震補強・建替工事（建築）

この作業所は観光地北海道函館市にある築後45年のホテルの増改築工事です。既存8階建RC建造物の上部4階を解体撤去(減築)し、残るコンクリート躯体を耐震補強することにより、既存建物を再利用しました。

更新時期を迎えた建物は解体し建替えを行う事例が多く、その場合は解体に伴うコンクリート塊が発生し環境負荷も大きくなります。今回は解体量を減らすことにより3,300tのコンクリート塊の発生を抑えると共に、解体作業の削減により37t-CO₂のCO₂発生削減にもつながりました。この活動が資源の有効利用に配慮した優れた自然環境保全活動であると評価されました。減築して残した建物躯体を再利用するためには、建物の健全性を確保すると共に、上部躯体解体時にも解体用の重機の重量負担や震動がもたらす影響を計測しながらの工事が必要となりました。解体後は有害な損傷の発生がないことの目視調査および、ひび割れについては樹脂注入するなどの補強を行いました。

2. リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞：

新名神高速道路 箕面インターチェンジ中工事(土木)

この作業所は、新名神高速道路の内、箕面地区で国道423号と箕面有料道路を接続するインターチェンジ工事で、木製型枠から薄肉コンクリート製残存型枠への変更や鉄骨コンクリート複合構造橋脚工法の採用、プレキャスト化を提案し、型枠材9,230m²、コンクリート60m³、コンクリートミキサー車台数の削減によるCO₂発生削減9.2t-CO₂を達成しました。また割岩工法による飛散物や騒音・震動の削減、土工事における重機の省燃費運転推奨によるCO₂発生削減に努めると共に、立木伐採材のクヌギを集積し、地元のシイタケ栽培用原木として再利用するなど地域貢献活動も行いました。

